

附属病院／形成外科

1. 領域構成教職員・在職期間

准教授	中井 國博	平成25年7月一
助教	峯岸 芳樹	平成25年10月一
医員	浦邊 亮太郎	平成27年4月一
医員	宮前 誠	平成29年4月一

2. 研究概要

研究概要

形成外科領域では体表全般における疾患を扱い、先天性体表異常や変形、また外傷や腫瘍により生じた欠損や変形に対する再建術など多岐にわたる。単に創傷が治癒閉鎖するだけでなく、機能面や整容面も重要視して治療を行っている。臨床面では再建術を中心とした形態学的検討を行い、基礎研究においては皮膚の構造と機能および創傷治癒に関連する病態の解析を進めるとともに機能面において知覚を主とした生体の反応の解明にも取り組む。また、多血小板血漿による再生医療の臨床応用も開始している。

キーワード

形成外科、再建術、体表、創傷、神経障害

業績年の進捗状況

臨床においては外傷や腫瘍などにより生じた欠損や変形に対する再建術に対して機能面や整容面も評価項目に入れながら形態学的検討を行った。足潰瘍患者における痛覚感受性と生理学的指標の関係に関する臨床研究に着手した。基礎研究においては動物モデルを用いた重症下肢虚血の痛みのメカニズムの解析に着手した。

特色等

形成外科領域では単に創傷が治癒するだけでなく、機能面や整容面も重要視して治療を行っていることが特色である。これにより治療を受けた患者さんの生活の質が格段に向上する。臨床面での課題を基礎研究において解析を進め、得られた知見を臨床に戻すことで臨床の充実を目指している。

本学の理念との関係

福井大学の理念を鑑みて、人々が健やかに暮らせるために世界的水準での独創的先端的医学研究に取り組むとともに、専門医療を実践できる人材育成を行い、地域、国および国際社会に貢献することを目指す。

3. 研究実績

区分	編数	
	2019年分	インパクトファクター（うち原著のみ） 2019年分
和文原著論文	3	—
英文論文	ファーストオーサー	0 (0)
	コレスポンディングオーサー	0 (0)
	その他	0 (0)
	合計	0 (0)

(A) 著書・論文等

(1) 英文：著書等

a. 著書

b. 著書（分担執筆）

c. 編集・編集・監修

(2) 英文：論文等

a. 原著論文（審査有）

b. 原著論文（審査無）

c. 原著論文（総説）

d. その他研究等実績（報告書を含む）

e. 国際会議論文

19507001

Kunihiro Nakai, Aya Nakae, Yoshiki Minegishi, Ryotaro Urabe, Makoto Miyamae, Toshio Yanagida, Ko Hosokawa, Tatemaki Kubo: Possible involvement of spinal endocannabinoids in a rat model of trigeminal neuropathic pain, 11th Congress of The European Pain Federation EFIC, 201909

19507002

Makoto Miyamae, Aya Nakae, Koutarou Nomura, Chie Kishimoto, Yoshiki Minegishi, Ryotaro Urabe, Kunihiro Nakai, Toshio Yanagida: Age-related changes in autonomic nervous response to different levels of painful stimulation., Neuroscience 2019, 201910

19507003

Kunihiro Nakai, Aya Nakae, Yoshiki Minegishi, Ryotaro Urabe, Makoto Miyamae, Toshio Yanagida, Ko Hosokawa, Tatemaki Kubo: The role of spinal endocannabinoids in a rat model of oro-facial neuropathic pain, Neuroscience 2019, 201910

(3) 和文：著書等

a. 著書

b. 著書（分担執筆）

c. 編集・編集・監修

19507004

林寛之、木村哲也、北井隆平、中井國博、森田浩史、峯岸芳樹、浦邊亮太郎、宮前誠：新版実践 WEB動画&縫合練習用モデルで学ぶ 縫合の基本テクニック～創処置、運針、糸結び、抜糸まで～、メディカ出版、14-17（中井）、41-47（中井）、48-62（峯岸、中井）、77-79（宮前、中井）、92-99（浦邊、中井）、20200315, DOI: 978-4-8404-7196-1

(4) 和文：論文等

a. 原著論文（審査有）

19507005

宮前誠、中江文、曾嶋崇弘、次田裕美、岸本千恵、浦邊亮太郎、峯岸芳樹、中井國博、柳田敏雄：持続的な痛み刺激に対する自律神経反応の変化、麻酔、69(3)、295-303、202003

19507006

浦邊亮太郎、峯岸芳樹、宮前誠、中井國博：劇症型溶血性レンサ球菌感染症の2例、日本形成外科学会誌、39(11)、568-574、201911

19507007

中江文、中井國博、加藤弘樹、吉岡芳親、柳田敏雄：Evaluation of spontaneous oro-facial neuropathic pain in animal model using high resolution MRI., PAIN RESEARCH, 34, 254-261, 20190419

b. 原著論文（審査無）

c. 総説

d. その他研究等実績（報告書を含む）

e. 国際会議論文

(B) 学会発表等

(1) 国際学会

a. 招待・特別講演等

b. シンポジスト・パネリスト等

c. 一般講演 (口演)

d. 一般講演 (ポスター)

19507008

Kunihiro Nakai, Aya Nakae, Yoshiki Minegishi, Ryotaro Urabe, Makoto Miyamae, Toshio Yanagida, Ko Hosokawa, Tetaki Kubo: The role of spinal endocannabinoids in a rat model of oro-facial neuropathic pain, Neuroscience 2019, Chicago(USA), 201910

19507009

Makoto Miyamae, Aya Nakae, Koutarou Nomura, Chie Kishimoto, Yoshiki Minegishi, Ryotaro Urabe, Kunihiro Nakai, Toshio Yanagida: Age-related changes in autonomic nervous response to different levels of painful stimulation., Neuroscience 2019, Chicago(USA), 201910

19507010

Kunihiro Nakai, AyaNakae, Yoshiki Minegishi, Ryotaro Urabe, Makoto Miyamae, Toshio Yanagida, Ko Hosokawa, Tateki Kubo: Possible involvement of spinal endocannabinoids in a rat model of trigeminal neuropathic pain, 11th Congress of The European Pain Federation EFIC, Valencia(Spain), 201909

e. 一般講演

f. その他

(2) 国内学会 (全国レベル)

a. 招待・特別講演等

b. シンポジスト・パネリスト等

c. 一般講演 (口演)

19507011

峯岸芳樹、宮前誠、浦邊亮太郎、中井國博: 体幹部悪性腫瘍切除後に生じた胸壁・腹壁欠損の再建方法の検討, 第46回日本マイクロサージャリー学会学術集会, 東京, 20191129

19507012

宮前誠、中江文、能村幸太郎、岸本千恵、近藤由衣、張維娟、明坂多希子、浦邊亮太郎、峯岸芳樹、柳田敏雄、中井國博: 愛着スタイル質問票の分類に基づいた実験的痛みに対する生理反応の検討, 第12回日本運動器疼痛学会, 東京, 20191130

19507013

中井國博、中江文、峯岸芳樹、浦邊亮太郎、宮前誠、細川瓦、久保盾貴: ラット神経障害性顔面遷延性疼痛モデルにおける脊髄での内因性カンナビノイドの関与, 第28回日本形成外科学会基礎学術集会, 仙台市, 201911

19507014

宮前誠、中江文、能村幸太郎、浦邊亮太郎、峯岸芳樹、柳田敏雄、中井國博: 繰り返し熱刺激に対する自律神経反応が循環系に与える影響についての検討, 第28回日本形成外科学会基礎学術集会, 仙台市, 201911

19507015

峯岸芳樹、宮前誠、浦邊亮太郎、中井國博: 成長期において頭蓋顎顔面骨発達にレチノイン酸が及ぼす役割, 第28回日本形成外科学会基礎学術集会, 仙台市, 201911

19507016

浦邊亮太郎、峯岸芳樹、宮前誠、中井國博: 耳下腺部巨大静脈奇形の治療経験, 第37回日本頭蓋顎顔面外科学会学術集会, 東京, 20191101

19507017

浦邊亮太郎、中江文、能村幸太郎、宮前誠、峯岸芳樹、柳田敏雄、中井國博: パルスオキシメーターを用いた繰り返し熱刺激に対する自律神経反応の評価, 第41回日本疼痛学会, 名古屋市, 20190712

19507018

浦邊亮太郎、峯岸芳樹、宮前誠、中井國博: 劇症型溶血性連鎖球菌感染症による壊死性筋膜炎の治療経験, 第11回日本創傷外科学会総会・学術集会, 20190705

d. 一般講演 (ポスター)

19507019

浦邊亮太郎、中江文、能村幸太郎、岸本千恵、近藤由衣、張維娟、明坂多希子、宮前誠、峯岸芳樹、柳田敏雄、中井國博: 痛みに関連する脳活動の解析～脳波振幅に着目して～, 第12回日本運動器疼痛学会, 東京, 20191130

19507020

中井國博、中江文、能村幸太郎、岸本千恵、近藤由衣、張維娟、明坂多希子、宮前誠、浦邊亮太郎、峯岸芳樹、柳田敏雄: 痛みに関連する脳活動の解析～シグナル同期に着目して～, 第12回日本運動器疼痛学会, 東京, 20191130

19507021

宮前誠、中江文、能村幸太郎、柳田敏雄、中井國博: 脳波を用いた局所麻酔中の痛みを客観的に把握する試み, 日本ペインクリニック学会第53回大会, 熊本, 20190719

19507022

宮前誠、中江文、能村幸太郎、柳田敏雄、中井國博: 脳波を用いた術後の痛みを客観的に把握する試み, 第41回日本疼痛学会, 名古屋市, 20190712

19507023

宮前誠、中江文、能村幸太郎、中井國博、重見研司、柳田敏雄: パルスオキシメーターを用いた痛み刺激に対する自律神経反応の定量評価～脈波を用いたより精度の高い情報を得られる可能性の検討～, 日本麻酔科学会第66回学術集会, 神戸市, 20190530

19507024

浦邊亮太郎、峯岸芳樹、宮前誠、中井國博: 若年女性の耳下腺に発生した巨大静脈奇形の治療経験, 第62回日本形成外科学会総会・学術集会, 札幌市, 201905

e. 一般講演

f. その他

(3) 国内学会 (地方レベル)

a. 招待・特別講演等

b. シンポジスト・パネリスト等

c. 一般講演 (口演)

19507025

峯岸芳樹、宮前誠、浦邊亮太郎、中井國博: 軀幹部悪性腫瘍切除に伴う腹壁欠損症例の検討, 第54回中部形成外科学会学術集会, 名古屋市, 20190727

d. 一般講演 (ポスター)

e. 一般講演

f. その他

(4) その他の研究会・集会

a. 招待・特別講演等

b. シンポジスト・パネリスト等

c. 一般講演（口演）

19507026

浦邊亮太郎、峯岸芳樹、宮前誠、中井國博：先天性涙嚢瘻の1例，第94回北陸形成外科学会，金沢市，20190907

19507027

峯岸芳樹、宮前誠、浦邊亮太郎、中井國博：肋間動静脈穿通枝を温存したまま有茎広背筋皮弁の移動量を延長し、側胸部胸壁欠損を被覆した1例，第94回北陸形成外科学会，金沢市，20190907

d. 一般講演（ポスター）

e. 一般講演

f. その他

(C) 特許等

区分	内容（発明の名称）	発明者又は考案者
----	-----------	----------

(D) その他業績

4. グラント取得

(A) 科研費・研究助成金等

区分	プロジェクト名	研究課題名	代表者名	分担者名	期間（年度）	金額（配分額）
区分	研究種目	課題名	代表者名	分担者名	期間（年度）	金額（配分額）
文部科学省科学研究費補助金	基盤研究(C)	成長期における頭蓋顎顔面骨に及ぼすレチノイン酸の役割の解析	峯岸 芳樹		2019	1430000
文部科学省科学研究費補助金	基盤研究(C)	術後遅延性疼痛における脳内マクロファージの役割の解明	中井 國博		2019	1040000

(B) 奨学金附金

受入件数	1
受入金額	95000

5. その他の研究関連活動

(A) 学会開催等

区分	主催・共催の別	学会名	開催日	開催地
----	---------	-----	-----	-----

(B) 学会の実績

学会の名称	役職	氏名
-------	----	----

(C) 座長

国内学会	学会名	氏名
------	-----	----

(D) 学術雑誌等の編集

学術雑誌等の名称	委員長（主査）・委員	氏名
----------	------------	----

(E) その他